

## 会 議 録

会議の名称	戸田市都市再生協議会（第2回）
開催日時	令和6年10月29日（火）午後7時00分 ~ 午後8時10分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
出席者氏名 （委員）	岡田 智秀（会長）、荒井 歩（副会長）、溝上 西二、藤田 安志、 入船 優太、細谷 功一、大藏 裕介、渡邊 裕介、森田 匡俊、中沢 英明、渡辺 大助、長谷川 昌之、岡安 敦志、重松 浩之、村井 芳巳、 内藤 祐一
欠席者氏名 （委員）	畠 繁明、船津 宗和
事務局	【戸田市】 早川 昌彦、山崎 康之、今泉 良太、宇田 将人、久保 恵、 茂原 洋輝、高木 博之 【株式会社 日本総合研究所】 大野木 洋輔、山下 翔平、高谷 健人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北戸田駅周辺まちなかウォークラブル将来ビジョンの成案化に向けた進捗状況について</li> <li>・ 北戸田駅周辺ウォークラブル社会実験 実施計画書（案）について</li> <li>・ 都市再生整備計画（令和6年度）（案）について</li> <li>・ 戸田市都市再生協議会要綱の改正案について</li> </ul>
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり
会議資料	<p>【資料1】 : 北戸田駅周辺まちなかウォークラブル将来ビジョンの成案化に向けた進捗状況について</p> <p>【資料2】 : 北戸田駅周辺ウォークラブル社会実験 実施計画書（案）</p> <p>【資料3】 : 都市再生整備計画（令和6年度）（案）</p> <p>【資料4】 : 戸田市都市再生協議会要綱の改正案について</p> <p>【参考資料1】 : 北戸田駅周辺まちなかウォークラブル将来ビジョン（案）</p> <p>【参考資料2】 : キタトダまちなかチャレンジチラシ</p>
議事録確定	令和6年11月15日 戸田市都市再生協議会 会長 岡田 智秀

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p><u>1. 開会</u> (宇田主幹開会挨拶) (資料及び議題の確認) (事務局から会長へ進行を交代)</p>
会長	<p><u>2. 北戸田駅周辺まちなかウォークラブル将来ビジョンの成案化に向けた進捗状況について</u></p>
事務局	<p>それでは、「次第2 北戸田駅周辺まちなかウォークラブル将来ビジョンの成案化に向けた進捗状況」について、事務局より説明いただく。 (資料1に基づき、事務局より説明)</p>
事務局	<p><u>3. 議題</u></p>
会長	<p><u>(1) 北戸田駅周辺ウォークラブル社会実験 実施計画書(案)について</u></p>
事務局	<p>議題(1)「北戸田駅周辺ウォークラブル社会実験 実施計画書(案)について」、事務局より説明いただく。 (資料2に基づき、事務局より説明)</p>
会長	<p>本社会実験では子どもの誘致を一つの狙いとしているが、子ども世代を呼びこむことで、親世代の参加も期待できる。また、同時多発的なイベントであるため、参加者は個々のコンテンツの楽しさを享受しつつ、コンテンツ間の移動も楽しめる。本社会実験は、これらの特性を生かして、面的にエリア全体の価値の向上を目指す取り組みである。そこで、各コンテンツの効果を検証する方法として、拠点ごとに参加人数をカウントすることは想定しているか。</p>
事務局	<p>資料に記載はないが、コンテンツごとの参加人数を計測する方法を現在検討している。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	モルックとは何か。
事務局	木製の棒を投げて木製の棒を倒す、屋外で行うボウリングのようなスポーツである。倒し方によって点数が異なり、先に50点に達したチームが勝利となるルールである。近年人気となっており、投じる距離も短く児童も参加できるため、賑わいづくりに貢献できると判断し取り入れている。
委員	社会実験中の会場周辺の車両通行止めの時間と周知の状況はいかがか。
事務局	通行止めの時間は、準備時間を含めて、8:00から17:00を予定している。蕨警察とも調整を行い周辺住民にも既に周知している。また、路線バスについては、走行ルートを変更しての運行を予定している。
会長	<p>以上の議論を踏まえ、「北戸田駅周辺ウォークブル社会実験 実施計画書(案)」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p> <p>(全委員からの異議なしをもって、本協議会として「北戸田駅周辺ウォークブル社会実験 実施計画書(案)」を承認。)</p> <p><u>(2) 都市再生整備計画(令和6年度)(案)について</u></p>
会長	<p>続いて、議題(2)「都市再生整備計画(令和6年度)(案)について」、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>(資料3に基づき、事務局より説明)</p> <p>(特に質問なし)</p>
会長	<p>以上の説明を踏まえ、「都市再生整備計画(令和6年度)(案)」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>(全委員からの異議なしをもって、本協議会として「都市再生整備計画(令和6年度)(案)」を承認。)</p> <p>(3) 戸田市都市再生協議会要綱の改正案について</p>
会長	<p>続いて、議題(3)「戸田市都市再生協議会要綱の改正案について」、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>(資料4に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>第1条に記載のある「作成」という言葉もあわせて除いた方が整合するのではないか。また、第2条の改正案では、将来ビジョンと都市再生整備計画が併記されているが、「将来ビジョン実現の検討」と「都市再生整備計画の作成」を切り分けて記述したほうが、時系列が合っていて良いのではないか。</p>
会長	<p>プロセスを明確にするために分けて記載し、文言を調整するのは適切な対応だと考える。</p>
事務局	<p>承知した。異論はない。詳細な文言については、行政管理課へも内容を確認の上で修正案を作成し、最終的には会長の承認を得るという形で決定しても差し支えないか。</p>
会長	<p>事務局より提案のあった、文言の調整を会長に一任するという進め方に異論はないか。</p>
	<p>(全委員からの異議なしをもって、本協議会として該当箇所の文言の決定について会長への一任を承認。)</p>
副会長	<p>社会実験で実施するアンケートの結果から、今後の検討・活動にあたって参考になるデータを収集できると推察する。一般市民に対してウォークブル</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>推進の取り組みへの参画を促すうえでも、アンケート結果を可能な範囲で公表することが有効だと考える。アンケートの活用に限らず、社会実験終了後の取り組みについて、何か計画はあるか。</p> <p>まず、社会実験終了後のまちづくりラボ準備会にて、振り返りを目的としたワークショップを予定している。加えて、ご指摘のとおり広く地域の市民に周知する必要性はあると認識している。詳細な広報の方法等については検討が進んでいないところだが、市のホームページはもちろんのこと、他の方法についても今後検討する。</p>
副会長	<p>アンケートの結果が、具体的に施策へ反映されていくことを市民が実感できることが重要である。アンケート結果を直接活用するだけでなく、その結果を公表することが望ましい。</p>
会長	<p>時期については検討が必要だが、例えば公開シンポジウムを開催することも一案である。</p>
事務局	<p>承知した。周知・啓発方法については、引き続き検討していく。 委員の皆様からの意見も引き続きいただきたいと考えている。</p>
会長	<p>以上の議論を踏まえ、「戸田市都市再生協議会要綱の改正案」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p> <p>(全委員からの異議なしをもって、本協議会として「戸田市都市再生協議会要綱の改正案」を承認。)</p> <p>(会長から事務局に進行を交代)</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p data-bbox="392 241 523 277"><u>4 . 閉会</u></p> <p data-bbox="392 304 1469 465">委員の皆様におかれましては、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第2回戸田市都市再生協議会を閉会する。本日はどうもありがとうございました。</p> <p data-bbox="1401 492 1466 528" style="text-align: right;">以上</p>